

天体形成研究会 プログラム

日時：2017年10月13日(金)～14日(土)

場所：筑波大学計算科学研究センター ワークショップ室

10/13(金)

時間	内容	講演者	タイトル
9:20～9:30	開会挨拶	梅村 雅之	
	<セッション1> (座長：古家 健次)		
9:30～10:15	北澤 優也 (筑波大)	星間分子の円偏光吸収特性から探る アミノ酸ホモキラリティ起源の解明	
10:15～10:35	中村 帆南 (筑波大)	星間分子雲中での酸化エチレンの生成反応の検証	
10:35～11:05	道越 秀吾 (京都女子大)	小惑星リングの実スケールグローバルシミュレーション	
11:05～11:25	休憩		
	<セッション2> (座長：安部 牧人)		
11:25～11:45	日原 慧大 (筑波大)	銀河形成のSPHシミュレーションに向けて	
11:45～12:30	藤原 隆寛 (筑波大)	SPH法の数値粘性を抑制する新しいアプローチ	
12:30～13:30	昼食		
	<セッション3> (座長：田中 賢)		
13:30～14:00	児玉 哲史 (千葉大)	四重極項計算のSIMD化によるツリー法の高速化 重元素の超微細構造線を用いた	
14:00～14:45	渡邊 歩 (筑波大)	中高温銀河間ガスの観測可能性	
14:45～15:05	江本 直史 (筑波大)	数値流体計算における計算高速化	
15:05～15:25	休憩		
	<セッション4> (座長：渡邊 歩)		
15:25～15:55	野村 真理子 (慶応大)	ブラックホール進化とフィードバック ～輻射流体・磁気流体シミュレーション	
15:55～16:40	油井 夏城 (筑波大)	再結合放射を考慮した 輻射輸送・流体三次元数値シミュレーション	
16:40～17:00	曾我 健太 (筑波大)	Ly α 輝線銀河中のAGNの形成過程について	
17:00～	写真撮影		
18:00～20:00	懇親会		

10/14(土)

時間	内容	講演者	タイトル
	<セッション5> (座長：五十嵐 朱夏)		
9:30~10:15	加藤 一輝 (筑波大)	コールドダークマターハローの カस्प-コア遷移における力学過程	
10:15~11:00	田沼 萌美 (筑波大)	ダークマターハローのユニバーサルスケーリング則	
11:00~11:20	休憩		
	<セッション6> (座長：加藤 一輝)		
11:20~11:50	松元 亮治 (千葉大)	磁気流体コードCANS+を用いた 降着円盤の3次元磁気流体シミュレーション	
11:50~12:20	宮澤 慶次郎 (千葉大)	連星へのガス降着シミュレーションでの コリオリ力の評価法の改善	
12:20~13:20	昼食		
	<セッション7> (座長：安部 牧人)		
13:20~14:05	石川 徹 (筑波大)	銀河中の大質量ブラックホールの軌道収縮と合体過程	
14:05~14:25	竹澤 多聞 (筑波大)	銀河中心領域におけるブラックホール合体	
14:25~14:45	田崎 翼 (筑波大)	質量降着を考慮した 原子銀河ブラックホールの合体過程の研究	
14:45~15:05	休憩		
	<セッション8> (座長：高水 裕一)		
15:05~15:35	南 祥平 (新潟大)	GaiaとGaia DR1	
15:35~16:05	西 亮一 (新潟大)	Gaia DR2に向けて	

講演は、30分「口頭(20分)+質疑/議論(10分)」となります。

(ただし、D3またはM2の学生は45分「口頭(30分)+質疑/議論(15分)」

B4の学生は20分「口頭(15分)+質疑/議論(5分)」)